



S.Suzuki

THE NHK MILE CUP

第29回 NHKマイルカップ (GI)

1着 賞130,000,000円 2着 52,000,000円 3着 33,000,000円 4着 20,000,000円 5着 13,000,000円  
 付加賞 3,864,000円 1,104,000円 552,000円

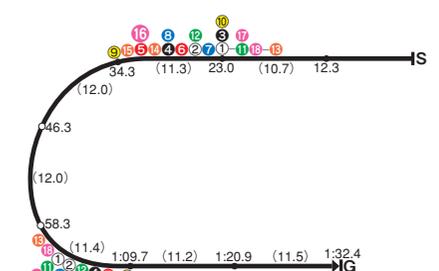


牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
 負担重量 馬齢重量

2024.5.5 東京 晴・良 芝1600m (国産) (種定)

順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ジャンタルマンタル	牡	3	57	川田将雅	1:32.4	3-3	33.9	492(+2)	2.9②	高野友和(栗東)	118
2	⑭	アスコリビチューノ	牝	3	55	C.ルメール	2½	5-3	34.2	480(+2)	2.9①	黒岩陽一(美浦)	109
3	⑧	ロジリオ	牡	3	57	戸崎圭太	クビ	8-6	34.0	482(-6)	28.5⑧	古賀慎明(美浦)	112
4	⑫	コンパデカーブス	牡	3	57	J.モレイラ	クビ	9-9	33.9	466(+6)	9.7④	堀 宣行(美浦)	112
5	④	イフェイオン	牡	3	55	西村淳也	1¼	6-6	34.4	480(+8)	148.0⑬	杉山佳明(栗東)	104
6	⑦	チャンネルトンネル	牡	3	57	岩田望来	クビ	11-10	34.2	470(-6)	84.8⑩	福永祐一(栗東)	107
7	③	ディスペランツァ	牡	3	57	鮫島克駿	ハナ	12-10	34.1	518(+4)	15.2⑥	吉岡辰弥(栗東)	107
8	⑩	ウォーターリヒト	牡	3	57	菅原明良	½	12-10	34.2	458(-4)	203.3⑮	河内 洋(栗東)	106
9	⑨	アルセナール	牝	3	55	横山武史	ハナ	17-17	33.8	454(+2)	15.0⑤	木村哲也(美浦)	102
10	⑧	エンヤラヴフェイス	牡	3	57	菱田裕二	クビ	6-6	34.6	490(+2)	498.9⑱	森田直行(栗東)	106
11	⑪	ユキノロイヤル	牡	3	57	石橋 脩	クビ	15-14	34.1	446(+2)	258.4⑰	小野次郎(美浦)	105
12	⑫	ノーブルロジャー	牡	3	57	松山弘平	クビ	9-10	34.3	482(+4)	15.8⑦	吉岡辰弥(栗東)	105
13	①	ダノンマッキンリ	牡	3	57	北村友一	クビ	12-14	34.2	474(+6)	24.2⑨	藤原英昭(栗東)	104
14	①	アレンジャー	牡	3	57	横山和生	クビ	15-14	34.2	460(±0)	226.0⑯	昆 貴(栗東)	104
15	⑮	マスクオールウィン	牡	3	55	岩田康誠	2½	2-2	35.7	494(+4)	256.7⑱	牧 光二(美浦)	95
16	⑬	シュトラウス	牡	3	57	北村宏司	ハナ	18-18	34.1	518(-2)	27.2⑧	武井 亮(美浦)	99
17	⑤	ボンドガール	牡	3	55	武 豊	5	3-3	36.4	452(+2)	9.2③	手塚貴久(美浦)	85
18	⑥	キャプテンシー	牡	3	57	M.デムロ	5	1-1	37.4	468(-2)	54.3⑰	松永幹夫(栗東)	79

単勝⑩290円(2½%) 複勝⑩130円(2½%) ⑭120円(1½%) ④410円(8½%) 枠連⑦-⑩310円(1½%)  
 馬連⑩-⑭360円(1½%) ワイド⑩-⑭200円(1½%) ⑥-⑩1,100円(13½%) ⑥-⑩970円(12½%)  
 馬単⑩-⑭700円(1½%) 3連複⑥-⑩-⑭2,540円(6½%) 3連単⑩-⑭-⑥8,520円(13½%)  
 5重勝⑨⑩⑬⑭⑯3,970,130円(109票) 対象競走: 京都10R/東京10R/新潟11R/京都11R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m  
 34.3 - 46.3 - 58.3 46.1 - 34.1

アラカルト

- 川田将雅騎手はダノンスコピオンで制した22年に続くNHKマイルC2勝目。JRA重賞は本年6勝目、通算136勝目
- 高野友和調教師はNHKマイルC初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算27勝目
- Palace Malice産駒はJRA重賞通算4勝目
- 牡馬の勝利は18年ケイアイノーテックから7年連続、通算24回目
- 枠連310円、馬連360円、ワイド200円、馬単700円は各形式における本競走の最低払戻金額
- 非抽選馬 7頭(エポックヴィーナス、オメガウインク、オーサムストローク、スパークリシャル、デビッドテソーロ、ファビュラススター、ボッドテオ)

# ジャンタルマンタル Jantar Mantar

牡 黒鹿毛 2021.3.21生  
 北海道千歳市 社台ファーム生産  
 馬主・宥社台レースホース 栗東・高野友和厩舎  
 馬名意味・インドにある天体観測施設

インディアマントウアナUSA系 F9-e

Palace Malice 鹿毛 2010	Curlin 栗毛 2004	Smart Strike Sherriff's Deputy
	Palace Rumor 鹿毛 2003	Royal Anthem Whisperifyou dare
インディアマントウアナUSA India Mantuana 黒鹿毛 2014	Wilburn 鹿毛 2008	Bernardini Moonlight Sonata
	Speed Wagon 青毛 2003	Tomorrows Cat Rajica

5代までのインブリード：Mr.Pro prospector S4×M5

## INTERVIEW

石井猛 社馬調教主任(社台ファーム)

### レースぶりに深い感慨を覚えました

皐月賞から中2週のローテに多少なりとも心配はありましたが、終わってみれば完勝で嬉しかったです。高野厩舎の万全な仕上げと川田騎手の完璧なエスコートがあつてのことですが、牧場全体で取り組んでいる、丈夫な馬作りと操作性に優れた馬の育成、全てが形となったようなレースぶりに深い感慨を覚えました。今後の古馬との対戦では、ひと夏越しての成長が楽しみです。

T.Miki



始動戦の共同通信杯は、ジャスティンミラノの2着、未知の距離に真っ向勝負を挑んだ皐月賞はゴール前で少し脚勢が鈍って3着に終わり、進路の照準をマイル路線に定め直した本馬。レコード決着の前走から中2週での再乗上とあつて、レース前は反動を不安視する声も聞かれたが、非の打ち所がない走りそんな懸念を一蹴、2歳女王との頂上決戦に完勝し、マイラーとしての高い資質を改めて証明した。

尻目に川田騎手が坂の上りから仕掛けると、ジャンタルマンタルも鋭く加速して快走。態勢を立て直されて追い込み、何とか2着は確保したアスコリピチエーノに2馬身余りのリードをつけてゴールに飛び込んだ。

## 父パレスマリスUSA

アメリカ産 北米19戦7勝(ベルモントSG<sub>1</sub>、メトロポリタンHG<sub>1</sub>、ガルフストリームパークHG<sub>2</sub>、ニューオーリンズHG<sub>2</sub>、ジムダンディSG<sub>2</sub>、ウエストチエスターSG<sub>3</sub>、ジョッキークラブゴールドC<sub>1</sub>2着)、16年から米、日で供用〔代表産駒〕ジャンタルマンタル(本馬)、ストラクターUSA(BCジュベナイルターフ・米G<sub>1</sub>、ビルグリムS・米G<sub>3</sub>)、ミスターモノモイ Mr.Monomoy(リズンスターS・米G<sub>2</sub>)、ライクザキング Like the King(ジェフルビーS・米G<sub>3</sub>)、フライオンエンジェル Fly On Angel(チャールズタウンオークス・米G<sub>3</sub>)、ノールロジャー(シンザン記念G<sub>3</sub>)

## 母インディアマントウアナUSA

北米27戦6勝(レッドカーベットH・米G<sub>3</sub>、ジンジャープリュース・米L2着、アリウスS・加3着、ウェイトアワイルS・米3着)、20年輸入

ジャンタルマンタル 本馬(21 牝父Palace Malice)持込 中央6戦4勝(NH KマイルC<sub>G1</sub>、朝日杯フューチャリティS<sub>G1</sub>、デシリール杯2歳S<sub>G1</sub>、共同通信杯<sub>G1</sub>2着、皐月賞<sub>G1</sub>3着)、最優秀2歳牡馬 獲得賞金320,528,000円(23 牝父パイロUSA)

※20、22(流産)

## 祖母スピードワゴン Speed Wagon

アメリカ産 北米5勝(MTASTアタリオンオークションラッシーS、レミントンパークBCオークス・L2着、ミネソタディスタフスプリントチャンピオンシップS2着、ノーザンライツデビュータントS3着)

ペナントフィーヴァー Pennant Fever(11 驥父Grand Slam)北米5勝  
 アブライドルランドアブレイヤー Abridleandaprayer(13 驥父Songandaprayer)  
 北米3勝

## インディアマントウアナUSA(14 前出)

サイレントディスコ Silent Disco(19 驥父Commissioner)北米1勝

## 曾祖母ラジカ Rajica

アメリカ産 北米5勝(エヴァーグリーンS、クイーンシティオークス・L2着) シティフリッカ City Flicka(94 牝父Slew City Slew)北米4勝

ラナウェイバビアー Runaway Babbie(95 牝父Runaway Groom)北米1勝、  
 ラナウェイジュリー Runaway Julie(ローズデバルトロメモリアルS・米、ポビーブリッカーメモリアルH・米)、モンフォートレーン MontfortLane(シンシナチアンS・米2着)の母

マーケットオブマリオン Market of Marion(96 牝父Marquetry)北米3勝  
 スピードワゴン Speed Wagon(03 前出)

## 非の打ち所がない走りで完勝

無傷の戴冠に挑んだ桜花賞で2着に惜敗したアスコリピチエーノと、皐月賞で大きな見せ場をつくりながらも、小差の3着に敗れたジャンタルマンタルが揃って参戦を表明。今年のNHKマイルCはレース史上初めで実現した2歳女王と2歳マイル王の激突が最大の焦点となった。同じ単勝オッズ(2・9倍)を記録した2頭のうち、1番人氣に支持されたのはアスコリピチエーノ。しかし勝利の軍配は負け知らずのマイルの舞台で本領を發揮した、ジャンタルマンタルにあがった。

好位に控えたニュージラントド口フィーで結果が出なかった(16着)キャプテンシーと、一角崩しの期待をかけた

無傷の戴冠に挑んだ桜花賞で2着に惜敗したアスコリピチエーノが、前年のレースを先導。このうちキャプテンシーが3コーナー手前で前に出て主導権を握る。抜群のスタートを切ったジャンタルマンタルと川田将雅騎手のコンビは3番手の外に腰を落ち着け、アスコリピチエーノが直後の内を追走。ポンドガールに次ぐ支持を集めたサウジアラビアロイヤルCの覇者ゴンパデカーブスは中団で未脚を温存した。

3コーナーからペースは緩み、比較的、密集した隊列で迎えた直線。ジャンタルマンタルに蓋をされた格好のアスコリピチエーノは、内の狭いスペースを割るうとして果たせず、他馬と接触してしまう。ゴチャついた馬群を尻目に川田騎手が坂の上りから仕掛けると、ジャンタルマンタルも鋭く加速して快走。態勢を立て直されて追い込み、何とか2着は確保したアスコリピチエーノに2馬身余りのリードをつけてゴールに飛び込んだ。